



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <https://www.mutual.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 榎本 洋
 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,088	14.8	451	59.7	466	45.3	291	89.2
2019年3月期第2四半期	4,432	21.6	282	—	321	723.4	154	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 291百万円 (41.4%) 2019年3月期第2四半期 206百万円 (47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45.21	—
2019年3月期第2四半期	23.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	14,297	9,255	62.5	1,385.00
2019年3月期	15,004	9,170	59.0	1,372.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,935百万円 2019年3月期 8,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,420	3.2	1,146	14.0	1,168	12.9	645	9.5	100.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,620,320 株	2019年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,168,413 株	2019年3月期	1,168,413 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,451,907 株	2019年3月期2Q	6,451,921 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種の政策効果を背景に雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移して参りました。一方、海外経済におきましては長期化する通商摩擦に加え、英国のEU離脱問題、中国経済の減速など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは国内はもとより海外の展示会にも積極的に参加し、現地メーカーとのタイアップ、ネットワークづくりに注力するとともに、海外マーケットへの販売を強化して参りました。また、オリジナル機のラインナップを増やし、他業界の受注拡大に努めて参りました。売上高につきましては、連結子会社が好調に推移したことに加え第3四半期以降に計画していた一部好採算の大口案件が前倒しで計上できたこと、また、当期受注、当期売上の短期案件が増加したことで、前年同期比655百万円増収となりました。損益面におきましても、上記増収効果に加え売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比0.1ポイント改善し、売上総利益が181百万円増加した結果、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,088百万円（前年同期比14.8%増）、売上総利益は1,385百万円（同15.1%増）、営業利益は451百万円（同59.7%増）、経常利益は466百万円（同45.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は291百万円（同89.2%増）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

①産業用機械事業

当社グループの主力事業である産業用機械事業は、売上高全体では4,843百万円（前年同期比16.8%増）でありました。この内、医薬品業界が2,965百万円（同0.1%増）、化粧品業界が1,091百万円（同40.4%増）、食品業界が577百万円（同258.8%増）、その他業界が208百万円（同16.1%減）となりました。

②工業用ダイヤモンド事業

工業用ダイヤモンド事業は、事業売上高として244百万円（前年同期比14.0%減）となりました。主な販売先は自動車業界、半導体業界であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比707百万円減少し、14,297百万円となりました。これは主として仕掛品が808百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,221百万円、前渡金が277百万円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比792百万円減少し、5,042百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が296百万円、未払法人税等が232百万円、前受金が77百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比84百万円増加し、9,255百万円となりとなりました。これは主として配当金の支払いが193百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が291百万円あったことで、利益剰余金が98百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4,603百万円となり、前連結会計年度末より131百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は389百万円（前年同期比34.9%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益466百万円に加え、売上債権の減少1,268百万円、前渡金の減少277百万円等により増加したものの、たな卸資産の増加825百万円、法人税等の支払額342百万円、仕入債務の減少289百万円等により減少したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は45百万円（前年同期は12百万円の獲得）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出16百万円、有形固定資産の取得による支出14百万円等により減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は207百万円（前年同期比0.1%減）となりました。これは主に配当金の支払額194百万円により減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気見通しとしては、国内では、10月に実施された薬価改定の影響、海外では米中貿易摩擦の長期化の影響等、不安定要素が多く経済見通しが極めて不透明でありますので、現状では2020年3月期通期連結業績予想につきましては、前回発表（2019年5月16日公表「2019年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,555,443	4,687,014
受取手形及び売掛金	3,963,000	2,741,005
電子記録債権	372,150	326,145
有価証券	25,134	24,594
商品及び製品	56,941	60,672
仕掛品	1,672,925	2,481,779
原材料	71,940	85,227
前渡金	770,200	492,881
その他	330,970	241,027
貸倒引当金	△2,407	△3,219
流動資産合計	11,816,300	11,137,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	512,072	497,591
土地	571,012	571,012
その他(純額)	121,838	110,237
有形固定資産合計	1,204,924	1,178,841
無形固定資産		
その他	27,747	23,767
無形固定資産合計	27,747	23,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,209	1,393,176
繰延税金資産	50,274	45,216
長期預金	1,500	1,200
その他	506,018	517,992
貸倒引当金	△176	△176
投資その他の資産合計	1,955,825	1,957,409
固定資産合計	3,188,497	3,160,017
資産合計	15,004,798	14,297,145

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,671,427	2,374,711
電子記録債務	755,403	763,267
未払法人税等	356,411	123,582
前受金	1,388,697	1,311,431
賞与引当金	93,225	104,868
その他	393,956	154,675
流動負債合計	5,659,121	4,832,536
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,940	79,058
退職給付に係る負債	16,877	15,779
繰延税金負債	51,103	82,394
その他	30,429	32,250
固定負債合計	175,350	209,483
負債合計	5,834,472	5,042,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	7,767,205	7,865,350
自己株式	△769,556	△769,556
株主資本合計	8,393,051	8,491,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468,537	453,001
繰延ヘッジ損益	△10,712	△12,019
為替換算調整勘定	4,064	3,744
その他の包括利益累計額合計	461,889	444,726
非支配株主持分	315,384	319,203
純資産合計	9,170,325	9,255,125
負債純資産合計	15,004,798	14,297,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,432,765	5,088,101
売上原価	3,228,668	3,702,724
売上総利益	1,204,096	1,385,376
販売費及び一般管理費	921,487	934,149
営業利益	282,609	451,227
営業外収益		
受取利息	6,340	4,382
受取配当金	13,366	14,739
為替差益	1,611	—
助成金収入	9,459	767
その他	8,782	5,359
営業外収益合計	39,560	25,247
営業外費用		
支払利息	766	94
為替差損	—	9,268
その他	290	598
営業外費用合計	1,057	9,960
経常利益	321,112	466,514
特別利益		
固定資産売却益	26,580	—
特別利益合計	26,580	—
税金等調整前四半期純利益	347,692	466,514
法人税、住民税及び事業税	115,185	114,371
法人税等調整額	21,503	43,398
法人税等合計	136,689	157,770
四半期純利益	211,003	308,743
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,849	17,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,154	291,702

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	211,003	308,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,716	△15,536
繰延ヘッジ損益	506	△1,307
為替換算調整勘定	4,408	△319
その他の包括利益合計	△4,801	△17,163
四半期包括利益	206,201	291,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,352	274,538
非支配株主に係る四半期包括利益	56,849	17,041

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,692	466,514
減価償却費	44,055	43,013
有形固定資産売却損益 (△は益)	△26,580	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△816	811
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,734	11,642
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,262	△1,101
受取利息及び受取配当金	△19,707	△19,121
支払利息	766	94
売上債権の増減額 (△は増加)	102,329	1,268,262
前受金の増減額 (△は減少)	672,916	△77,286
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△598,641	△825,770
仕入債務の増減額 (△は減少)	235,758	△289,978
前渡金の増減額 (△は増加)	△94,231	277,319
その他	20,386	△139,247
小計	676,402	715,152
利息及び配当金の受取額	15,352	17,019
利息の支払額	△766	△94
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△92,679	△342,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,307	389,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△73,700	△70,700
定期預金の払戻による収入	75,500	72,500
有価証券の取得による支出	△1,281	△1,663
有形固定資産の取得による支出	△1,491	△14,358
投資有価証券の取得による支出	△10,298	△16,420
その他	24,250	△14,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,978	△45,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△38,310	—
長期借入金の返済による支出	△1,662	—
配当金の支払額	△158,865	△194,228
非支配株主への配当金の支払額	△7,202	△13,222
その他	△1,540	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,580	△207,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△4,796
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	403,672	131,870
現金及び現金同等物の期首残高	3,723,792	4,471,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,127,464	4,603,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤ モンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,148,312	284,453	4,432,765	—	4,432,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,148,312	284,453	4,432,765	—	4,432,765
セグメント利益	548,290	35,867	584,158	△301,549	282,609

(注) 1. セグメント利益の調整額△301,549千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤ モンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,843,605	244,496	5,088,101	—	5,088,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,843,605	244,496	5,088,101	—	5,088,101
セグメント利益	691,535	30,511	722,047	△270,820	451,227

(注) 1. セグメント利益の調整額△270,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。